

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	第 11 回入間市地域公共交通協議会
開 催 日 時	平成 30 年 7 月 24 日 (火) 午後 3 時 00 分 開会・午後 5 時 00 分 閉会
開 催 場 所	入間市役所 4 階大会議室
議 長 氏 名	埼玉大学大学院理工学研究科環境科学・社会基盤部門 教授 久保田 尚
出席委員(者)氏名	別紙 1 のとおり
欠席委員(者)氏名	別紙 1 のとおり
説明者の職氏名	入間市 都市整備部 副参事 藤田拓也 都市整備部都市計画課 主事 大野裕太
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	【公開】 別紙 2 のとおり
非 公 開 理 由	—
傍 聴 者 数	3 名
配 布 資 料	別紙 2 のとおり
事務局職員職氏名	入間市都市整備部 次長 小暮敏彦 都市整備部都市計画課 課長 瀧澤良生 都市整備部 副参事 藤田拓也 都市整備部都市計画課 主幹 小松辰也 都市整備部都市計画課 主事 大野裕太
会議録作成方法	要点筆記

会議録(2)

議事の概要(経過)・決定事項

1. 開会
2. 委嘱状及び辞令の交付
3. あいさつ
4. 委員自己紹介
5. 会長・副会長の選任
6. 報告事項
 - (1) これまでの流れ
 - (2) コミュニティバスの運行状況について
 - (3) 金子コースの再調査結果について
7. 協議事項
 - (1) 各コースの本格運行に向けての評価
8. その他
 - (1) 今後のスケジュールについて
 - (2) 狭山市との広域連携について
 - (3) 免許返納の状況について
9. 閉会

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
1. 開会	
2. 委嘱状及び辞令の交付	
3. あいさつ	
友山副市長	<p>みなさんこんにちは。副市長の友山でございます。本日は大変お暑いなか、また公私ともにお忙しいなか、第 11 回入間市地域公共交通協議会にご出席賜り、誠にありがとうございます。また、ただいま辞令交付をさせていただきますましたが、引き続き委員の皆様方にはお引き受けいただきまして、誠にありがとうございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>おかげさまで 1 月 30 日から「ていーろーど」の再編、「ていーワゴン」の導入をいたしまして、順調にスタートしましたが、これもひとえに委員の皆様のご指導とご協力の賜物であり、感謝を申し上げます。若干「ていーワゴン」の金子地区で利用者が芳しくない状況がございますが、新しい方向性を見出していただければありがたいと思っております。後ほど担当よりご報告をさせていただきます。</p> <p>超高齢社会になり、いわゆる買い物弱者や病院への移動手段等の課題が山積しているなかで、この地域公共交通網形成計画を策定させていただきまして、スタートしました。地域の皆様に愛される公共交通として、持続可能な制度を維持していくために、皆様方に忌憚のないご意見をいただきながら歩みたいと思っております。入間市の第 6 次総合計画で「みんなで作る 住みやすさが実感できるまち いるま」という目標を標榜しています。この公共交通は一翼を担っていけるものでございます。様々な角度からご審議ご協力をいただければと思います。どうかよろしくお願いいたします。</p>
4. 委員自己紹介	
各委員	(自己紹介)
5. 会長・副会長の選任	

発 言 者	発 言 内 容
友山副市長	<p>会長、副会長の選出につきましては、入間市地域公共交通協議会条例第5条第1項の規程により、委員の互選により定めることとなっている。どなたか意見があれば伺いたいが、いかがか。</p>
双木委員	<p>会長、副会長には、引き続き久保田委員と小嶋委員にお願いしたいが、いかがか。</p>
友山副市長 一同	<p>会長に久保田委員、副会長に小嶋委員が推薦されたが、いかがか。 (異議なし)</p>
友山副市長	<p>久保田委員、小嶋委員、いかがか。</p>
久保田委員	<p>(異議なし)</p>
小嶋委員	<p>(異議なし)</p>
友山副市長	<p>それでは、久保田委員を会長に、小嶋委員を副会長に決定し、ここで座長を交代する。</p> <p>【会長、副会長あいさつ】</p>
久保田会長	<p>会長を選任いただきました埼玉大学の久保田でございます。改めてどうぞよろしく願いいたします。本日通算11回ということで、これまで10回、皆様に、とりわけ、分科会の皆様に非常に活躍していただきまして、「ていーろーど」と「ていーワゴン」、そして既存の路線バスやタクシー等と全体の公共交通をどのようにしていくか議論していただきました。「ていーろーど」の再編、「ていーワゴン」の新設という大きな成果を上げております。</p> <p>ただ、このようなことに対しては、常に内容を確認して修正を適宜行うPDCAを行っていきます。これまでの実績を皆様で共有して、改めるところは改めたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。</p>
小嶋副会長	<p>改めまして埼玉大学の小嶋です。副会長を選任いただきまして、大変恐縮でございます。これまで皆様にご議論いただきました「ていーろーど」「ていーワゴン」について、1月に始まった実証実験の成果を、今回の会</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>議のなかで紹介されて、また議論をしていくなかで、その機会に参加させていただけることを大変光栄に思っております。引き続きどうぞよろしくお願いたします。</p>
<p>3. 議題</p>	
<p>事務局 久保田会長 一同</p>	<p>(資料-2 これまでの流れ)</p> <p>これまでの流れについて質問や意見はあるか。</p> <p>(異議なし)</p>
<p>事務局 芳賀委員</p>	<p>(資料-3 コミュニティバスの運行状況について)</p> <p>朝と夕に運行している宮寺・二本木循環コースについて、運行状況を教えてください。</p>
<p>事務局</p>	<p>朝と夕の宮寺・二本木循環コースはほとんど利用されていないのが現状である。大半の方が日中の利用となっている。</p>
<p>芳賀委員</p>	<p>宮寺・二本木循環コースは、全く利用されていないのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>運行事業者から利用者数の記録を確認すると、全く利用されていないわけではないが、数人程度となっている。「全く利用されていない」という言い方をしても過言ではない状況である。</p>
<p>芳賀委員</p>	<p>夕方も利用されていないということか。</p>
<p>事務局</p>	<p>朝より夕方のほうが利用者は少ない。</p>
<p>芳賀委員</p>	<p>私も宮寺・二本木循環コースを3回利用しているが、3回とも利用者は私のみであった。運転手に聞いてみたところ、宮寺・二本木循環コースは全く利用者がいない、とのことである。朝の7時から9時までの2時間の貴重な時間を、乗客がいないバスが運行している状況で本格運行に移行するのは安易ではないのではないかと考えている。</p> <p>そこで以前からお願いをしているが、朝の通勤・通学のための生活支援として、宮寺・二本木地区から駅まで運行してほしい。</p> <p>入間市二本木地区、狭山台地区はかなり人口が増えており、子どもたち</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>が多い。子どもたちは毎朝、入間市博物館始発の路線バスに乗るために、博物館のバス停まで歩いて来ている状態である。そのような需要が多いため、朝・夕の宮寺・二本木循環コースは廃止し、最寄り駅まで少しだけでも運行してほしい。</p> <p>宮寺・二本木地区は市内で唯一鉄道駅が無い地区である。学生や働く世代は苦勞している実態があるため、なんらかの対応をしてほしい。JRの箱根ヶ崎駅にも行ってもらいたい。箱根ヶ崎駅は瑞穂町で行政区が異なり、事情もあるだろうが、宮寺・二本木循環コースに運行している時間を割り当ててほしい。</p> <p>現在の宮寺・二本木循環コースの利用者数のままで運行を続ける事は、市民への説明が付かない。</p> <p>「ていーワゴン」は現在1年間の実証運行中である。先日、宮寺・二本木地区で地元協議会を開催した。芳賀委員と同じ意見を頂いている。宮寺・二本木循環コースは、宮寺・二本木地区から小手指駅方面と入間市駅方面のバスに乗れるようにするために設定したものである。「1年の実証運行のなかで運行ルートの変更は難しいかもしれないが、本格運行を行いながら、希望が多ければ武蔵藤沢駅までの運行ルートへの変更を地元の意見として提示したい」という意見が地元協議会から挙がっている。</p>
芳賀委員	<p>金子コースと同様に、宮寺・二本木地区の「ていーワゴン」についても実証運行を延長することはできないのか。</p>
事務局	<p>主な利用者は昼間の宮寺・二本木コースを利用しているため、このコースを基準に朝と夕の運行ルートを検討する予定である。実証運行ではなく本格運行を行いながら検討していくが、その際に、武蔵藤沢駅への運行ルートに変更といった地元の意向を踏まえて検討していく。ルートの変更が必要であれば、本格運行の中でも変更は可能である。本格運行後の中での対応を事務局としては考えている。</p>
芳賀委員	<p>私たちの世代ではなく、子ども世代、孫世代が毎日困っていることをご</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>理解いただきたい。この世代が毎日苦勞して、家族等が駅までマイカーで送り迎えをしている状況となっている。交通空白地域である金子地区と同様に、宮寺・二本木地区も困っている。子ども世代、孫世代のために、なんとかしてほしい。</p> <p>地元協議会から同じ意見を頂いている。9月にもう一度、地元協議会を開催するが、武蔵藤沢駅への運行ルート変更の可能性を検討していく方向性になるのではないかと予想している。そのためには、実際に利用していただく等、地元のご協力が必要となることは、地元協議会に伝えている。ただし、運行に用いることのできる車両が1台のみであるため、武蔵藤沢駅と箱根ヶ崎駅のどちらの方向に運行ルートを変更するか、地元を選択していただくことになるかと予想している。</p>
荒岡委員	<p>資料-3、2ページの利用状況について、東金子コースの利用者数が多いことだが、それはなぜか。</p> <p>また、4ページの運賃収入について、運賃収入が約2倍になったが、採算が取れているのか。</p>
事務局	<p>1点目の東金子コースの利用者数が多い理由について、まず理由の1つとして、地形が挙げられる。坂道が多い山間地であり、このため利用者が多くなっている。第2の理由として世代が挙げられる。昭和40年代後半から昭和50年代にかけて分譲された地域であり、おそらく60代、70代の方々が多く居住していると考えられる。そのような方々は坂道を歩くことに苦勞をしていたのではないかと考えられる。そのような状況に運転免許証の自主返納支援の機会が合致する等、様々な要素が重なったことが、利用者数が多い理由と考えている。</p> <p>ただ、東金子コースについて月平均2000人の利用が今後も続くとは想定していない。東金子コース沿線の住民が外出困難なほど高齢化する頃になると、利用者数が減少し、ルートの変更を検討しなければならないと考えている。現在、月平均2000人の利用者があるのは嬉しい悲鳴であり、</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>乗りこぼしまで発生している状況である。</p> <p>2点目の収支率について、再編前は運行経費の94%が税金、6%が運賃収入で賄っていた。再編後、収入が約2倍となっても、運行経費の約8割を税金で賄っている収支率20%の状況である。税金で補填しないほどに収益の発生する路線であれば、民間の事業者に運行していただくが、収益の発生しない路線についてはコミュニティバスで対応していかなければならない。コミュニティバスにおける収支率の全国平均が約20%であり、「ていーろーど」「ていーワゴン」の収支率であれば、コミュニティバスとして相応な結果と認識している。</p>
事務局	<p>(資料-4 金子コースの再調査結果について)</p>
畦地委員	<p>金子地区において医療施設へ「ていーワゴン」を運行してほしい声が多かったが、金子地区の医療施設の立地状況を教えていただきたい。</p>
事務局	<p>歯科医は金子地区に2、3軒あるが、内科医は金子地区では10年前に無くなっている。厚生労働省の定義によると「無医地区」は、地区中心を起点として4km圏内に50人以上が居住しており、医療施設を利用することができない地区となっている。金子地区では、金子公民館から約2kmの場所に青梅厚生病院があり、飯能市街や仏子駅、箱根ヶ崎駅付近も4km以内となっている。厚生労働省が定義している「無医地区」ではないと判断しているが、「かかりつけ医が無くて困っている」との声を地域包括支援センターからも聞いている状況である。</p>
事務局	<p>(資料-5 各コースの本格運行に向けての評価)</p>
茂木委員	<p>コース別に1便あたりの利用者数はどのようになっているのか。</p>
事務局	<p>「ていーろーど」について、北コース7.57人、南コース6.77人、健康福祉センターコース8.01人、「ていーろーど」平均7.45人となっている。</p>

発 言 者	発 言 内 容
茂木委員	<p>「ていーワゴン」について、1月から3月までの平均値であるが、東金子コース 2.73 人、金子コース 0.24 人、宮寺・二本木コース 0.56 人、「ていーワゴン」平均 1.18 人となっている。</p>
事務局	<p>「ていーろーど」は路線によって利用者数に差は無いので、順調に運行できているということか。</p>
事務局	<p>順調に運行できている。再編前に利用していた利用者に、引き続き利用していただきながら、運賃を徴収できていることが成功に繋がっている。</p>
芳賀委員	<p>「ていーワゴン」の宮寺・二本木循環コースについて、どのような検討をして、ルート変更案はいつ提示するのか。</p>
事務局	<p>協議会の決議事項であるため、9月に開催する次回の協議会までに、地元協議会においてどのように変更するか意見を確認していく。</p>
芳賀委員	<p>9月の協議会にルート変更案を示していただくという理解でよろしいか。</p>
事務局	<p>9月の協議会において、地元協議会での意見を踏まえ、決議する。</p>
久保田会長	<p>金子コースは1年間実証運行を延長し、宮寺・二本木循環コースは1月から本格運行していくのか。</p>
事務局	<p>本格運行していくなかでルート変更を検討していく。宮寺・二本木地区から武蔵藤沢駅方面へルート変更する意見は、宮寺・二本木循環コースを設定する以前から存在した意見である。先日の地元協議会でも意見が出ている。</p>
久保田会長	<p>金子コースは実証運行を継続して、その結果をどのように判断するのか。</p>
事務局	<p>利用状況を判断基準としている。宮寺・二本木コースのように月 200、300 人程度はご利用いただきたい。その程度の利用状況の見込みが無ければ、対応について判断いただく状況になると想定している。まずは希望に沿ったルートとダイヤを設定し、どのような実証運行ができるか、実証運行を改めて申請し直すか、実証運行継続を申請するか、埼玉運輸支局と相</p>

発 言 者	発 言 内 容
小嶋副会長 事務局	<p>談しながら検討したい。</p> <p>東金子コースの乗りこぼしへの対応はいかがか。</p> <p>東金子コースは約 15 万円から 18 万円の収入があり、乗りこぼしによる補填額は月 1 万円前後となっている。乗りこぼし対策は、引き続き後続便を出しながら、金子コースの変更とも併せて、対応を模索していきたい。</p>
芳賀委員	<p>9月の協議会で「ていーワゴン」の見直し案を決議した結果、調整が必要になると手戻りが発生する。それを防ぐために、事前に利用者分科会を開催できないか。</p>
事務局	<p>ご要望があれば事前に利用者分科会を開催することは可能である。ただ、地元の意見を尊重したい。</p>
芳賀委員	<p>地元協議会と地域公共交通協議会は直接的には関係ない。地元協議会で決定した内容が、地域公共交通協議会でも承認されとは限らない。手戻りが発生しないように、利用者分科会を開催して調整するのはいかがかと考えている。ただ、宮寺・二本木循環コースのルート変更については、宮寺・二本木地区の課題であり、利用者分科会を開催することもやや憚られるが、何らかの対応はしてほしい。</p>
事務局	<p>利用者分科会を開催してご相談させていただいてから、9月の協議会で議題に挙げることは可能である。利用者分科会開催の有無について、またご相談させていただきたい。</p>
双木委員	<p>利用者分科会は各区長が参加して行っている。地元の公民館長や支所長の意見を伺いながら実施している。そのように意見を伺いながら実施できれば、協議会に向けて意見がまとまる。</p>
久保田会長 一同	<p>「ていーろーど」は平成 31 年度に本格運行とすることでよろしいか。</p> <p>(異議なし)</p>
茂木委員	<p>東金子コースについて、乗りこぼしの発生がさらに増えた場合の対応はどのように考えているのか。</p>
事務局	<p>基本的に後続便を用意するが、このまま増えていくのであれば別の対策</p>

発 言 者	発 言 内 容
久保田会長	<p>を検討していきたい。</p> <p>「ていーワゴン」東金子コース、宮寺・二本木コースについては平成31年度より本格運行とする。ただし、宮寺・二本木循環コースについては変更案が次回の協議会で示される。金子コースについては、1年間、実証運行を継続する。この2点についてよろしいか。</p>
一同	(異議なし)
事務局	(資料-6 今後のスケジュール)
畦地委員	<p>本年度は9月の協議会が最後となる。平成28年度に入間市では地域公共交通網形成計画を策定しており、目標として具体的施策を挙げているが、それらの進捗状況を教えて頂きたい。</p>
事務局	<p>地域公共交通網形成計画の具体的施策の進捗状況については、次回の協議会でお示しする。</p>
事務局	(資料-7 狭山市との広域連携について)
久保田会長	<p>広域連携については、入間市の地域公共交通協議会の決議事項ではないのか。</p>
事務局	<p>事前に埼玉運輸支局に確認したところ、狭山市のバスが入間市へ乗り入れるため、入間市の協議会では報告事項、狭山市の協議会では決議事項との回答を得ている。</p>
事務局	(資料-8 高齢者運転免許証の自主返納支援について)
久保田会長	<p>高齢者運転免許証の自主返納支援について質問や意見はあるか。</p>
一同	(異議なし)
久保田会長	<p>その他、意見はあるか。</p>
一同	(異議なし)

発 言 者	発 言 内 容
事務局	第 11 回協議会を閉会します。
5. 閉会	
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p style="text-align: center;">30年 8月16日</p> <p>議 長 の 署 名 久保田 尚</p> <p>議長が指名した者の署名 細谷 秋雄</p>	

第11回入間市地域公共交通協議会

平成30年7月24日 現在

区分	機関名	職名	氏名	出欠	
1	西武鉄道㈱	計画管理部鉄道計画課長	長 田 裕 太 郎	×	
2	西武バス㈱	取締役運輸計画部長	山 内 智 矢	○ (代理出席1名)	
3	西武ハイヤー㈱	業務部長	藤 原 康 之	○	
4	丸大観光㈱	代表取締役	齋 藤 栄 作	○ (代理出席1名)	
5	松葉交通㈱	代表取締役社長	松 原 緑	○ (代理出席1名)	
6	国土交通省関東運輸局埼玉運輸支局	首席運輸企画専門官	岡 安 和 幸	○	
7	国土交通省関東地方整備局 大宮国道事務所	副所長(技術)	後 閑 浩 幸	○ (代理出席1名)	
8	埼玉県	企画財政部交通政策課交通企画・ バス担当主査	畦 地 英 樹	○	
9	埼玉県飯能県土整備事務所	道路環境部長	今 井 祥 晋	○ (代理出席1名)	
10	埼玉県警狭山警察署	交通課長	鈴 木 隆	○	
11	4号委員	公 募	荒 岡 真 由 美	○	
12	4号委員	公 募	芳 賀 隆 夫	○	
13	5号委員	埼玉大学大学院 理工学研究科 環境科学・社会基盤 部門 教授	久 保 田 尚	○	
14	5号委員	埼玉大学大学院 理工学研究科 環境科学・社会基盤 部門 准教授	小 嶋 文	○	
15	6号委員	西武バス労働組合	執行委員長	小 河 憲 司	×
16	7号委員	豊岡地区区長会	扇町屋第2区副会長	久 保 富 美 子	○
17	7号委員	東金子地区区長会	東金子体育協会幹事	塚 原 と み 子	○
18	7号委員	金子地区区長会	前金子地区区長会長	双 木 茂 芳	○
19	7号委員	宮寺・二本木地区区長会	前宮寺・二本木地区区長会長	細 谷 秋 雄	○
20	7号委員	藤沢地区区長会	藤沢地区交通安全母の会会長	齋 藤 勝 子	○
21	7号委員	西武地区区長会	西武地区第8区会長	茂 木 保 孝	○
22	8号委員	入間市	企画部長	加 藤 保 夫	○
23	8号委員	入間市	環境経済部長	長 谷 川 功	○
24	8号委員	入間市	市民生活部長	高 山 勇	○
25	8号委員	入間市	福祉部長	宮 岡 実	○
26	8号委員	入間市	都市整備部長	山 崎 利 明	○
27	2号委員	計画内容により委嘱			
28	2号委員				
29	2号委員				
30	2号委員				

第 1 1 回 入間市地域公共交通協議会

日時：平成 30 年 7 月 24 日（火）15 時 00 分～17 時 00 分

場所：入間市役所 4 階大会議室

一 次 第 一

1. 開 会
2. 委嘱状及び辞令の交付
3. あいさつ
4. 委員自己紹介
5. 会長・副会長の選任
6. 報告事項
 - (1)これまでの流れ
 - (2)コミュニティバスの運行状況について
 - (3)金子コースの再調査結果について
7. 協議事項
 - (1)各コースの本格運行に向けての評価
8. その他
 - (1)今後のスケジュールについて
 - (2)狭山市との広域連携について
 - (3)免許返納の状況について
9. 閉 会

【配付資料】

- | | |
|------|-------------------|
| 資料-1 | 入間市地域公共交通協議会 委員名簿 |
| 資料-2 | これまでの流れ |
| 資料-3 | コミュニティバスの運行状況について |
| 資料-4 | 金子コースの再調査結果について |
| 資料-5 | 各コースの本格運行に向けての評価 |
| 資料-6 | 今後のスケジュール |

資料-7 狭山市との広域連携について

資料-8 高齢者運転免許証の自主返納支援について

参考資料-1 利用者ヒアリング調査票

参考資料-2 金子地区アンケート調査票

参考資料-3 入間市地域公共交通協議会条例

参考資料-4 入間市地域公共交通協議会 規約

